

【様式 2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	京都府
取組市町村名 取組団体・企業名	長岡京市
取組の名称	①「まるごとヘルシーフェスタ」にて、食育ひろばの開催 ・「ながおかきょうの料理」レシピコンテスト ・「ながおかきょうの料理」LIVE クッキング ②庁舎内電子掲示板にて食育に関する情報を掲載
実施時期	①「まるごとヘルシーフェスタ」令和4年9月10日（土） ②庁舎内電子掲示板にて減塩に関する情報を掲載 令和4年5月～令和5年3月（月1回掲載内容更新）
取組内容	①「まるごとヘルシーフェスタ」にて食育ひろばの開催 <u>「ながおかきょうの料理」レシピコンテスト</u> 「なすを使った料理」「親子で作る料理」の2部門で募集し、コンテスト当日ポスター発表形式で、レシピのおすすめのポイント等を紹介しました。「まるごとヘルシーフェスタ」の参加者の投票により、グランプリを各部門1名決定しました。レシピコンテストの会場には公立保育園児の食育に関連する絵の展示をしました。 <u>「ながおかきょうの料理」LIVE クッキング</u> 簡単調理のデモンストレーションを実施しました。参加者とやり取りをしながら、メニューの展開などアレンジの仕方を紹介し、主食、主菜、副菜のそろえ方を解説しました。  ←レシピコンテスト LIVE クッキング 作成料理（一部）→  ②庁舎内電子掲示板にて食育に関する情報を掲載 食育に関する情報を掲載し、来庁者へ食への意識を高めてもらえるよう工夫しました。 <成果等> 「まるごとヘルシーフェスタ」にはたくさんの来場（406名）があり、多数の方（230名）が「ながおかきょうの料理」レシピコンテストに投票されました。 各部門で、投票獲得数の多かった作品に対し、市長よりグランプリ賞の賞状と記念品を贈呈しました。後日グランプリ受賞作品をはじめとする、作品レシピ集をホームページにて公開し、市民へレシピの紹介をしました。 「まるごとヘルシーフェスタ」の来場者は406名でしたが、「ながおかきょうの料理」LIVE クッキングはメイン会場と離れていたため、開催している事を知らない方が多く、来場者が少なかったため、今後イベント周知の工夫等課題があります。 イベント型の食育の啓発は、家族での参加も多く、幅広い年齢層の方に食に興味をもってもらえる機会となるため、今後も実施していきたいです。

【様式 2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名	京都府
政令指定都市名	
取組市町村名	木津川市
取組団体・企業名	
取組の名称	① 食育レシピコンテスト ② きょうと食育強化月間
実施時期	① 令和4年7月～令和4年11月 ② 令和4年11月1日（火）～令和4年11月30日（水）
取組内容	① 「食育レシピコンテスト」 第2次すこやか木津川21プラン～健康推進計画・食育推進計画～を策定する際に市民アンケートを行い、その結果、全年齢に対し野菜と魚の摂取率の低下が目立ったことにより実施しました。 小・中学生を対象にレシピコンテストを行い入賞者のレシピを広く市民に普及することで健やかな、まちづくりを進めることを目的としています。 内容：応募数796通の中から入賞された5名の方のレシピを市ホームページや広報に掲載し、さらに地元飲食関係商工会員へ紹介し、商品化が可能な作品を各店舗において提供いただきました。また、株式会社平和堂アル・プラザ木津の店内に11月限定で入賞者のレシピを自由に持ち帰りできるように設置しました。 場所：市役所1階 住民活動スペース前、株式会社平和堂アル・プラザ木津、やましろまつり、木の津まつりで配布 配架：入賞者レシピ5品（下記参照） 「柿と秋野菜の旬そばろ丼」「秋野菜の春巻き包み焼き」 「秋刀魚のクルクルフレンチ」「鯖と梅肉のワンタンスープ」 「蓮根と鮭の海苔巻き」  ② 「きょうと食育強化月間」 第2次すこやか木津川21プラン～健康増進計画・食育推進計画～により実施。パネルを展示し、レシピの配架を行い、市民の食に対する関心を高めることを目的としている。 場所：市役所1階 住民活動スペース前 スタッフ配置：なし 展示：パネル2枚（聖護院大根・水菜） 配架：旬の地元野菜等を使ったレシピ 水菜サラダ、大根ステーキの坦々みそかけ 提供者：京都山城広域振興局農林商工部・木津川市食生活改善推進員協議会 <成果等> ・食育レシピコンテスト入賞者レシピを市役所、株式会社平和堂アル・プラザ木津、やましろまつり、木の津まつりにて配架。配架レシピ持ち帰り集計：2,026枚 ・食育の日（19日）に聖護院大根・水菜・地元野菜等のレシピを配架。食生活改善推進協議会からのレシピを配架。配架レシピ持ち帰り集計：各種類合計90枚 ・食育推進計画の取組のなか、子どもたちが自らレシピを考えることで、家族全体で食生活について考える機会となるため、魚・野菜不足の食生活改善の向上に今後も努めていきたい。 ・今後も展示パネル、配架レシピの内容は、地元の食材を中心に普及していき、参加者が興味を持てるような食育の場になるよう、同様の取り組みを行いたい。また、関係者の協力を得て地元野菜の食材の普及の取り組みをしていきたい。